

# 日大土木会会報

発行：日大土木会広報部会

〒101-8308  
東京都千代田区神田駿河台1-8  
日本大学理工学部土木工学科内  
TEL：03-3259-0662  
FAX：03-3293-3319  
http://www.nu-dobokukai.com

## 土木系各学科・主任教授挨拶

土木系三学部四学科の主任教授の先生方より各学科の近況報告およびご挨拶をいただきましたので、掲載させていただきます。

理工学部 土木工学科

☆梅村 靖弘 先生

理工学部 交通システム工学科

☆峯岸 邦夫 先生

工学部 土木工学科

☆渡邊 英彦 先生

生産工学部 土木工学科

伊藤 義也 先生

(☆新任)

### 理工学部土木工学科

#### 主任梅村靖弘



昨年十月より、理工学部土木工学科ならびに土木工学専攻の教室主任を務めております梅村でございます。日頃より土木教室の教育・研究活動並びに学生の就職に、日大土木会の会員の皆様はじめ多くの校友の皆様の多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

ます。心より厚く御礼申し上げます。また、この四月で昨年の熊本地震の本震発生から一年が経ちましたが、改めて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに未だ避難生活を余儀なくされている方々へお見舞い申し上げる次第です。

さて、土木工学教室の近況についてご報告させていただきます。昨年の入試状況ですが、近年の社会資本整備を巡る世論の風向きも変わってきたこともあり、土木工学科志望の受験生が増えるようになり、結果として入試偏差値も昨年度からさらに上昇致しました。

また、就職につきましても皆様方の多大なご指導・ご支援により好調に終えることができ教員一同深く感謝をしております。二十八年度は、博士前期課程十八名、学部二〇六名が卒業しました。業種別の主な内訳は、公務員一〇〇名(44.6%)、建設業五五名(24.6%)、コンサルタント二十一(9.4%)、運輸九名(4%)、大学院進学十八名(8%)となっており、その他の各方面にも多くの学生を送り出すことができました。教育面における日大土木会からのご支援の中で、例年、修士論文発表



大学院の修士論文優秀発表賞（日大土木会奨励賞）受賞者

優秀者に対して「日大土木会奨励賞」を授与していただいております。平成二十八年度は三名が受賞し、三月二十五日の学位記伝達式に際して賞状と副賞の贈呈をして頂きました。受賞者名と論文題目は次のとおりです。岡嶋 礼男「模型砂地盤におけるすべり面強度に及ぼすアーチ作用の影響」、先名 陵「フライアッシュセメントの水和反応と圧縮強度に及ぼす高温熱養生履歴の影響」、堀江 岳「都市鉄道整備にともなうアクセシビリティの改善と生産性向上効果」。このような奨励賞のお蔭で大学院生の研究活動におけるモチベー

### 理工学部

#### 交通システム工学科

#### 主任峯岸邦夫



平成二十八年一〇月より佐田達典教授の後任として交通システム工学科の教室主任に就任いたしました。

した峯岸邦夫でございます。若輩者ですが、どうぞよろしくご厚い申し上げます。

日大土木会の皆様方には、引き続き、多方面にわたりますご支援・ご協力を頂きますようお願い申し上げますとともに、今後のますますのご活躍とご発展を祈念申し上げます。

格され、三友奈々助教（都市計画）が再任されました。さらに、園部雅史助手（測量学）、山田雄太助手（構造工学）が着任されました。初年次教育の重要性が増しており、専門以外にも測量実習や各演習等、若い教員を交えながら基礎力のある実践的な学生を育てて参ります。引き続き、皆様のご支援・ご鞭撻をいただけたら幸いです。

さて、本学科は、皆様ご存じのよう昭和三十六年に社会の要請を受けて交通工学として創設され、それ以降、「土木のわかる交通技術者」、「交通のわかる土木技術者」の養成を軸に教育研究活動を行って参りました。社会の要請にこたえるべく、常に教育内容の改善に務めて参りましたが、平成二十五年四月に学科の教育内容をより鮮明にあらわした交通システム工学科へ学科名称を変更いたしました。そして本年三月に交通システム工学科として初の卒業生を送り出すことが出来ました。これも、日大土木会をはじめ関係各位のご支援・ご協力のお陰で順調に学科運営を進めてくることが出来ました。この紙面をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。

教室の動きとしては、平成二十九年三月末をもって下邊悟教授がご退職されました。また、四月一日より、新たに鈴木圭教授が着任いたしました。また、伊東英幸准教授がアメリカへ大学の海外派遣研究員



わたちの会創設 50 周年記念祝賀会より (平成 28 年 10 月 22 日)

として、四月一七日より一ヶ月間の予定で長期出張されています。一方、卒業生の動向ですが、昨年度は日大土木会の皆様方のお陰をもちまして、一昨年度同様に民間、公務員、進学と進路決定率一〇〇%となっております。

昨年一〇月二十二日に理工学部校友会交通部会(わたちの会)創立五〇周年の記念行事が船橋校舎で開催され、多くのご参加を得て旧交を深められました。教室としましては、随時研究室のOB・OG会開催の支援をさせていただいておりますので、大学の開催をご検討されています卒業生の皆さんは、教室にご相談下さい。お待ちしております。

工学部土木工学科

主任 渡邊 英彦



平成二十九年四月から工学部土木工学科主任を仰せつかりました渡邊でございます。

日大土木会の会員の皆様をはじめ多くの校友の皆様方には、工学部の教育活動並びに学生の就職活動に多大なご指導ご支援を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

今年三月の卒業生は東日本大震災後に入学者が減少した学年の翌

年に入学した学生になります。入学者の減少が続くのではないかと不安を感じておりましたが、その翌年、つまり今回の卒業生が入学した年度には震災以前の状況にもどり安堵したとともに、原発事故の風評が残る中で工学部を志願し、復旧復興のために土木工学を通じて役に立ちたいという学生の強い意気込みを感じた年でもありました。卒業生の活躍を学科教員一同で期待していると

主任挨拶  
日大土木会の皆様、平成二十六年四月から主任を仰せつかっております伊藤でございます。日大土木会におかれましては平素より、学生の教育ならびに教室に対して多大なご支援、ご指導並びにご援助をいただいております。日大土木会におかれましては平素より、学生の教育ならびに教室に対して多大なご支援、ご指導並びにご援助をいただいております。



生産工学部土木工学科  
主任 伊藤 義也

また教員及び学生の活動状況につきましては、教員三名(岩城一郎教授、朝岡良浩准教授、中野和典教授)と学生二名(M1浅野和香奈さん、B4宮田芳徳君)がそれぞれ表彰を受けました。(学科ホームページに詳細を載せておりますのでご覧ください)

就職状況については、非常に好調で、就職率一〇〇%を五年連続で達成し工学部内で最も高い内定率を得ることができました。最後になりますが、今後とも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い致します。

今年三月の卒業生は東日本大震災後に入学者が減少した学年の翌

した。学部学生の就職の内訳は、建設業八十三名、コンサルタント二十七名、公務員三十二名、製造・小売・自営業三十六名、進学十七名、大学院修士修了生は建設業一名、コンサルタント二名、公務員一名、製造業二名、進学一名であります。

日大土木会の皆様、校友会の諸先輩の就職支援に感謝申し上げます。ご指導を賜りますようお願いいたします。

また、平成二十九年度は一九四名の新生を迎えることができ、四月十日より、新学期的の授業が行われております。

③ 学科の近況報告

【落合実教授が生産工学部長に再任・副学長に再就任】

平成二十九年三月三十一日付で任期満了に伴い次期学部長予備候補者選挙を去る平成二十八年十二月十五日に行った結果、土木工学科落合実教授が多数の教職員の支持を得て学部長に再選出されました。再選出に伴い日本大学副学長に再選任され就任いたしました。平成二十九年五月十三日には落合実先生

のますますのご活躍を祈念して、祝賀会が催される運びとなっております。

【平成二十八年度の就職状況】

平成二十八年度の学部の学生並びに大学院生の就職状況は日大土木会の会員の並びに諸先輩のご協力およびご支援ももちまして、学部学生一九五名の卒業生、並びに修士七名の修了生の全員が就職でき、本年度も一〇〇%の就職率を確保することができ

ました。学部学生の就職の内訳は、建設業八十三名、コンサルタント二十七名、公務員三十二名、製造・小売・自営業三十六名、進学十七名、大学院修士修了生は建設業一名、コンサルタント二名、公務員一名、製造業二名、進学一名であります。

日大土木会の皆様、校友会の諸先輩の就職支援に感謝申し上げます。ご指導を賜りますようお願いいたします。

◎JABEE継続審査  
平成二十八年十一月、JABEE継続認定による学科の技術者教育プログラムの継続審査が三日間にわたり実施されました。今年の3月に継続審査結果が送付され、大変高い評価を得ることができ、今後もこの水準を維持した上で教育活動をしてまいります。

◎昇格の先生のご紹介  
平成二十八年四月に山口晋助教が専任講師、中村倫明助手が助教に昇格いたしました。引き続き学生の目線にたった学生指導と研究面でも活躍していただくことを期待しております。

◎カリキュラムについて  
本学部では、今年度より、初年度にあたる平成二十九年度の新生を対象としてクォーター制カリキュラム導入して、います。クォーター制カリキュラムは前期を第1クォーター(四月十日〜六月九日)と第2クォーター(六月十二日〜八月四日)、後期を第3クォーター(九月十五日〜十一月十五日)と第4クォーター(十一月十六日〜一月三十日)として、各クォーターに設置された科目を週2回の授業を

置かれた科目を週2回の授業を

実施するため、学生は各ク  
ォーターごとに単位が修得で  
きます。翌年以降は、順次上  
級学年にクォーター制を展開  
する予定です。

また、引き続き平成二十五  
年度より体系化を進めている  
「技術者としての将来を楽し  
みにする教育」の具現化を目  
的にカリキュラム全体を見渡  
して、土木技術者の仕事、立  
場、役割理解に基づく将来像  
構築などを萌芽させるための  
キャリアデザイン教育と土木  
技術者に必要とされる工学的  
理解、理論的思考に基づく、  
問題発見・解決力の養成など  
を萌芽させるためのエンジニ  
アリングデザイン教育の進め  
ております。

### 学科情報① 土木設計競技

日本大学全国高等学校  
土木設計競技

理工・土木 教授 関文夫

理工学部土木工学科、工  
学部土木工学科、生産工学  
部土木工学科の3学部の土  
木工学科では、平成二十六

### 第1回日本大学全国高等学校 土木設計競技

テーマ：“これからのみち”  
—日本の道路を考える—

第1回日本大学全国高等学校土木設計競技のポスター  
1. 日本大学全国高等学校土木設計競技実行委員会  
2. 日本大学土木工学科



第1回設計競技のポスター

年(二〇一四年)から、全  
国の高校生を対象とした「土  
木設計競技」を開催していま  
す。これは、土木という職域  
や職能というものが、あまり  
社会で知られていないこと  
に端を発し、ひとりでも多く  
の高校生に、土木工学を知っ  
てもらおうという意図から、  
始めました。高校生を対象と  
した本格的な設計競技が開  
催されたのは、全国で初め  
てで、今年が第4回を迎え  
ることになります。

この土木設計競技のフラ  
イヤーは、「テーマ」を読む  
だけで、土木の世界が見え  
てくるというのが最初の狙  
いでした。1枚でも多くの  
フライヤーを高校生に届け、  
土木を知ってもらおう、土木  
を感じてもらおう、土木って  
意外にカッコいいを感じて

もろうためにフライヤー・ポ  
スターを作成しています。

土木の目的は、人々の生  
活を支え、まちを災害から  
守り、国の基盤をつくるこ  
とで、「土木は本来クリエイ  
ティブな職域、職能であるこ  
と」をメッセージとしていま  
す。

第1回のテーマ  
『「これからのみち—日本  
の道路を考える—』  
第2回のテーマ  
『もしも、水が出ない』



パネル審査の様子

—日本の水を考える—  
第3回のテーマ  
『レインボーブリッジを  
架け替える—東京港の 橋  
を考える—』

これらのフライヤーやポス  
ターは、全国の高等学校、工  
業高校、工業専門学校などに  
送付しておりますが、各土木  
工学科のオープンキャンパス  
等イベントでも配布しており  
ます。

土木設計競技の参加方法  
は、一枚のポスターを作成し、  
応募することから始まりま



表彰式後の記念撮影 (第3回土木設計競技)

す。昨年は十四作品の応募が  
あり、八作品が一次審査を通  
過しました。二次審査は、駿  
河台校舎でプレゼンテーショ  
ン審査を行います。このプレ  
ゼンテーションは、高校生と  
は思えない構成や手法で、会  
場を大いに盛り上げてくれま  
した。大学教員からの質問に  
も、元気な高校生らしいテキ  
パキとした解答や、少し悩み  
ながらも自分の言葉で説明す  
る必至の姿がありました。

会場に設置されたポスター  
とプレゼンテーションの審査  
結果が集計され、入賞、審査  
員特別賞、優秀賞2点、最優  
秀賞が発表されました。

表彰を終えた高校生と引率  
の先生のために、細やかな懇  
親会の方が用意され、どうい  
うところで悩んだとか、どこ  
からあの発想が浮かんだのか  
と和やかな会となりました。  
高校生には、やり切った顔が  
あり、会場は、清々しい雰囲気  
となりました。

さて、今年の第4回のテー  
マは『人をひきつける川とは  
—身近な川を考える—』です。  
全国の高校生は、このテーマ  
をどう受け止めるのか楽しみに  
しています。

### 学科情報② わだち五〇年

理工学部交通システム工  
学科の同窓会組織でありま  
す日本大学理工学部校友会  
交通部「わだちの会」が昨  
年度五〇周年を迎えました。  
これを記念して、平成  
二十八年十月二十二日(土)  
に、船橋校舎において記念式  
典および祝賀会を開催いた  
しましたので紹介させてい  
たきます。



座談会「交通への思い」の様子

- 【創立五〇周年記念事業】  
1 キャンパス施設見学会・  
施設体験会  
2 恩師の先生による特別講義  
・高田邦道先生

- 「時代の証言者」—交通  
技術者 高田邦道—  
3 わだちの会 創立50周年  
記念総会

- 4 わだちの会 創立五〇周年  
記念式典  
・【記念講演】  
「私の生きざま(社会人大  
学院生として)」  
若林勝司様(二八期)

- ・【座談会】  
「交通への思い」  
パネラー  
村瀬芳昭様(二期)  
秋山尚夫様(二期)  
酒井俊介様(四期)  
市川恵一様(五期)

- 5 祝賀会



祝賀会の様子

### O B 会情報 構造の会開催

去る平成二十九年五月十三日(土)に、理工学部駿河台校舎において、「日大構造の会 第四回研究会」が開催されました。

今回のリサーチリーダーは野村卓史先生(理工学部土木工学科教授)で、「社会インフラマネージメント」に関する「イノベーション」に関する講演内容でありました。研究会は三部構成で以下のとおりでありました。

高柳健一氏 (M/Tテクノロジー)  
【第一部】  
イノベーション技術  
講演者:  
和田克也氏 (ホルス)

森本春吉氏 (4Dセンサー)  
福馬智生氏 (TDAI)

【第三部】  
インフラの維持管理・更新・マネージメント技術  
講演者:  
藤野陽三氏 (横浜国立大学)

興味のある方は以下のサイトで詳細を見ることが出来ます。  
日大構造の会  
(幹事: 森 正忠・脇 正鋭)  
ホームページ:  
<http://www.cosmogin.co.jp>  
<http://www.nihon-u.ac.jp/~nisera.html>

メール:  
[nisera@cosmogin.co.jp](mailto:nisera@cosmogin.co.jp)

### 日大構造の会 第4回研究会 社会インフラマネージメント に関わるイノベーション

2017.05.13 14:00~17:50  
【第一部】国際展開から国際展開へ  
山崎淳氏 / 日本大学名誉教授  
野村卓史先生 / 日本大学理工学部教授  
【第二部】イノベーション技術  
和田克也氏 / 日本大学理工学部教授  
森本春吉氏 / 4Dセンサー(株)代表取締役社長  
福馬智生氏 / (株)TDAI Lat代表取締役社長  
【第三部】インフラの維持管理・更新・マネージメント技術  
藤野陽三氏 / 横浜国立大学 工学部教授  
講演者: 藤野陽三氏 / 横浜国立大学 工学部教授  
上席特別教授



構造の会プログラム

### その他の情報

●盛武建二氏が瑞宝小綬章を授与  
平成二十九年春の叙勲で、

●盛武建二氏が瑞宝小綬章を授与  
平成二十九年春の叙勲で、  
本会副会長を務められておられます盛武建二氏(元 会計検査院・昭和四十四年工・土木卒)が瑞宝小綬章を受賞されました。  
おめでとうございます。

●栗津清蔵先生を偲ぶ会  
去る四月二十二日(土)に御茶ノ水・ホテル聚楽にて、昨年十二月二十二日に九十四才で逝去された故栗津清蔵先生(日本大学名誉教授・水理学)を偲ぶ会が開催されました。  
当日は、教え子ら約二百

名が駆けつけ、栗津先生との思い出に胸に最後のお別れをされておりました。  
(ご冥福をお祈りいたします。)

●理工学部新校舎は平成三十年六月竣工予定  
理工学部駿河台校舎において建設中の南棟校舎(仮称)の完成が、来年の六月に予定されており、来年の六月に予定されております。新校舎は、六号館(図書館棟)と九号館を解体した後、に建設されており、新校舎完成後には五号館も解体される予定になっております。土木工学科の全研究室、実験室等も新校舎に入る予定になっております。完成まであと二年となります。



理工学部新校舎 (完成予定)



日本大学創立 130 年のサイト

●日本大学は二〇一九年に創立一三〇周年、理工学部は二〇二〇年に創設一〇〇周年となります。  
記念のイベント等も予定されており、情報が入りますので、情報が入ります。

### おくやみ

平成二十八年〜二十九年にかけて以下の方々の訃報が届いております。  
謹んで皆さまにお知らせしますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

- 雨森司瑞利 昭和四十八年卒 (理工・土木)
- 白井誠 昭和六十二年卒 (理工・土木)
- 大関吉太郎 昭和三十四年卒 (理工・土木)
- 大西和雄 昭和四十九年卒 (理工・土木)
- 小川恵 昭和三十年卒 (理工・土木)
- 岸 智 昭和三十年卒 (理工・土木)
- 景野郡司 昭和三十五年卒 (理工・土木)
- 杉山伸行 昭和五十八年卒 (工・土木)
- 高橋修次郎 昭和四十九年卒 (理工・土木)
- 三浦裕二 昭和三十三年卒 (理工・土木)

### 会費納入のお願い

皆様方からの会費納入により、本会の諸活動(特別講演会・学科への教育補助費贈呈等)が実施されております。引き続き、年会費(三千元)納入のご協力、よろしくお願ひ申し上げます。  
(事務局より)

### 編集後記

最後までお読みいただきありがとうございます。第二十二号の会報は、各学科からの情報を中心に制作いたしました。ご意見・ご感想等ありましたら事務局までお知らせ願います。(か)

